

**2025年3月期（第125期）
（2024年 4月 1日～2025年 3月 31日）**

芦森グループ決算説明資料

連結業績は、売上高 72,604百万円、
営業利益 4,618百万円、経常利益 4,213百万円、
親会社株主に帰属する当期純利益 2,758百万円となりました。

2025年 5月 13日

芦森工業株式会社

証券コード：3526

前期比で 増収増益（営業利益/経常利益ベース）

	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	前期比	
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	68,389	72,604	4,214	6.2
営業利益	3,753	4,618	864	23.0
（営業利益率）	5.5%	6.4%	-	0.9
経常利益	4,202	4,213	11	0.3
特別損益	135	▲ 801	▲ 936	-
税金等調整前 当期純利益	4,337	3,412	▲ 924	▲ 21.3
親会社株主に 帰属する 当期純利益	3,217	2,758	▲ 458	▲ 14.3

■ 売上高・営業利益・経常利益は過去最高。

■ 為替差損（営業外費用） ▲ 431百万円

■ 特別損益の内訳

- ・ 投資有価証券売却益 + 74百万円
- ・ 固定資産売却益 + 225百万円
- ・ 機能製品事業の製品保証引当金戻入額 + 33百万円

- ・ 自動車安全部品事業の製品保証損失 ▲ 990百万円

- ・ 機能製品事業の製品保証損失、
棚卸資産評価損、製品補償対策費 ▲ 145百万円

2. セグメント別業績の概要

2025年3月期（第125期）
決算説明資料

		2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	前期比	
		百万円	百万円	百万円	%
自動車安全部品事業	売上高	50,039	52,855	2,816	5.6
	営業利益	2,317	3,379	1,062	45.8
	（営業利益率）	4.6%	6.4%	-	1.8
機能製品事業	売上高	18,320	19,723	1,402	7.7
	営業利益	2,184	1,892	▲ 291	▲ 13.3
	（営業利益率）	11.9%	9.6%	-	▲ 2.3
その他	売上高	29	25	▲ 4	▲ 13.7
	営業利益	11	9	▲ 1	▲ 15.0
全社費用	一般管理費	▲ 758	▲ 663	95	-
合 計	売上高	68,389	72,604	4,214	6.2
	営業利益	3,753	4,618	864	23.0
	（営業利益率）	5.5%	6.4%	-	0.9

■自動車安全部品事業

一部で生産調整の影響があったが、円安効果と原材料価格の市況変動分および労務費上昇分の一部を売価に転嫁した結果、前期比・計画比ともに増収増益。

■機能製品事業

・パルテム

下水道分野における繰越工事が多く、売上高は前年度を上回る水準となったが、原材料高騰や労務費上昇などのコストアップ、加えて将来の成長に向けた投資も増加し、収益率は低下。前期比で増収減益、計画比で減収減益。

・防災

前年度は大口径ホースシステム関連の石油コンビナート向け大型案件納入があったこと、また品質問題が発生した消防用・消火栓用ホースの販売が低調に推移し、前期比・計画比ともに減収減益。

・産業資材

上期に地盤改良商品の大型土木工事案件の施工・納入があったほか、全般的な市況回復傾向により、自動車産業や防火スクリーン用途の広巾織物の販売が堅調に推移し、前期比・計画比ともに増収増益。

（単位：百万円）	2024年3月期 期末	2025年3月期 期末	前期末比
流動資産	34,652	35,226	573
固定資産	19,209	19,044	▲ 164
資産合計	53,861	54,271	409
有利子負債	12,937	11,323	▲ 1,614
その他負債	18,358	17,992	▲ 365
負債合計	31,295	29,315	▲ 1,979
資本金	8,388	8,388	-
資本剰余金	1,632	1,632	-
利益剰余金	10,901	13,046	2,145
自己株式	▲ 148	▲ 104	43
その他の包括利益累計額	1,743	1,955	211
新株予約権	24	13	▲ 11
非支配株主持分	24	23	▲ 0
純資産の部合計	22,566	24,955	2,388
負債及び純資産の部合計	53,861	54,271	409
自己資本比率	41.8%	45.9%	4.1

- 棚卸資産の削減に伴って借入金の返済を進めたことにより、前期末比で有利子負債が▲1,614百万円。
- 一部仕入先への支払サイトを短縮したこと等により、前期末比でその他負債（買掛金等）が▲365百万円。

4. 連結 C / F と設備投資の状況

2025年3月期（第125期）
決算説明資料

(単位：百万円)	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,173	4,286	1,112
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 725	▲ 1,178	▲ 453
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,901	▲ 2,254	▲ 352
現金及び現金同等物に係る換算差額	306	178	▲ 127
現金及び現金同等物の増減額	853	1,031	177
現金及び現金同等物の期末残高	5,255	6,287	1,031

「営業活動によるキャッシュ・フロー」・・・棚卸資産の減少等により、前期比で改善。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」・・・設備投資の増加等により、前期比で悪化。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」・・・配当金支出の増加等により、前期比で悪化。

(単位：百万円)	2021/3 期	2022/3 期	2023/3 期	2024/3 期	2025/3 期
設備投資額	1,545	4,762	1,517	1,310	2,068
減価償却費	2,057	1,842	1,885	1,746	1,756

			2025年3月期 実績	2026年3月期 計画	前期比	
			百万円	百万円	百万円	%
報告 セグ メント	自動車安全部品 事業	売上高	52,855	46,000	▲ 6,855	▲ 13.0
		営業利益	3,379	2,200	▲ 1,179	▲ 34.9
		(営業利益率)	6.4%	4.8%	-	▲ 1.6
	機能製品事業	売上高	19,723	20,000	276	1.4
		営業利益	1,892	1,600	▲ 292	▲ 15.5
		(営業利益率)	9.6%	8.0%	-	▲ 1.6
	その他	売上高	25	24	▲ 1	▲ 5.9
		営業利益	9	12	2	27.0
	全社費用	一般管理費	▲ 663	▲ 800	▲ 136	-
合 計		売上高	72,604	66,000	▲ 6,604	▲ 9.1
		営業利益	4,618	3,000	▲ 1,618	▲ 35.0
		(営業利益率)	6.4%	4.5%	-	▲ 1.8
		経常利益	4,213	3,000	▲ 1,213	▲ 28.8
		特別損益	▲ 801	-	-	-
		親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,758	2,200	▲ 558	▲ 20.2

■自動車安全部品事業

自動車市場の縮小に伴う対象台数の減少および製品構成の変化に加え、当期実績よりも円高を想定したことにより、減収減益の計画。

■機能製品事業

▪ パルテム

売上構成の小口径へのシフトや価格改定前の受注案件が残ること、新工法開発等に伴う労務費・試験研究費の負担を想定し、増収減益の計画。

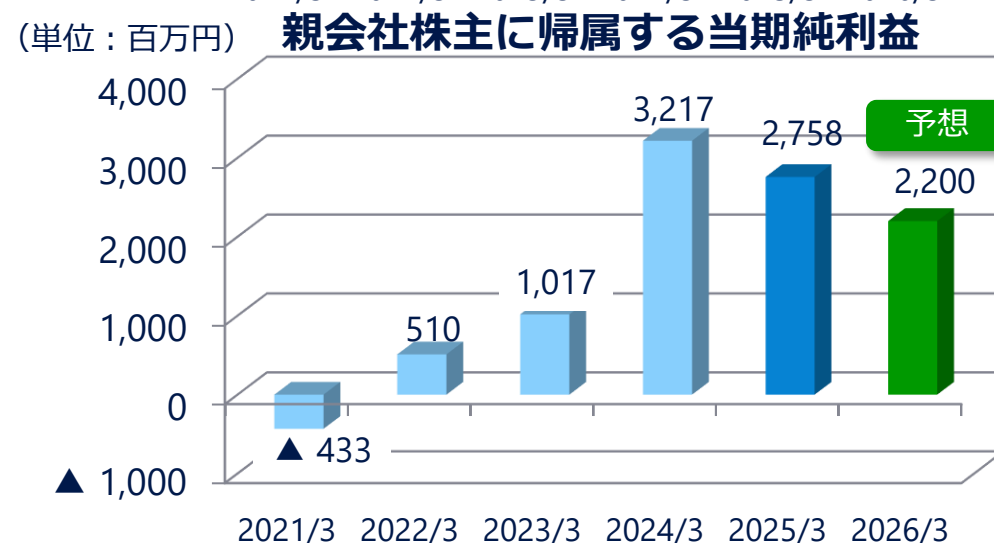
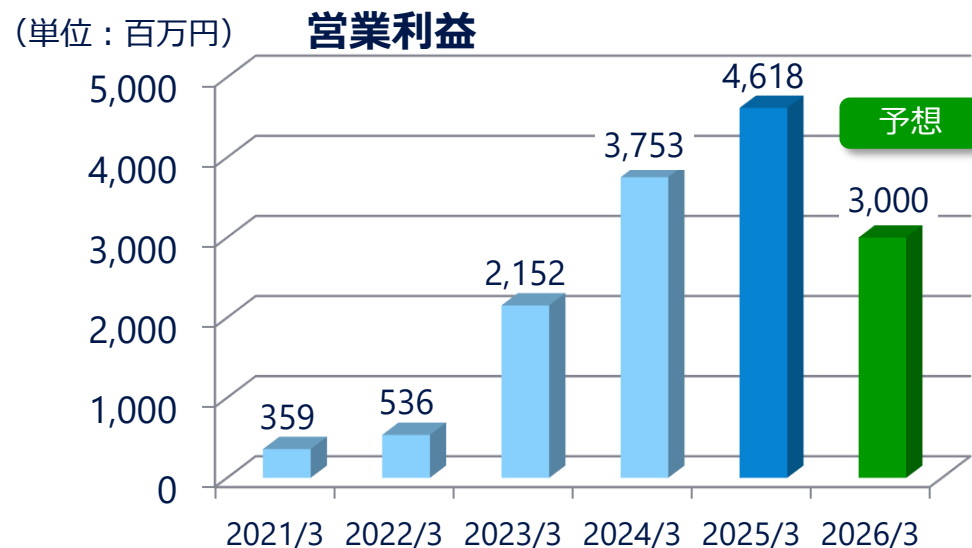
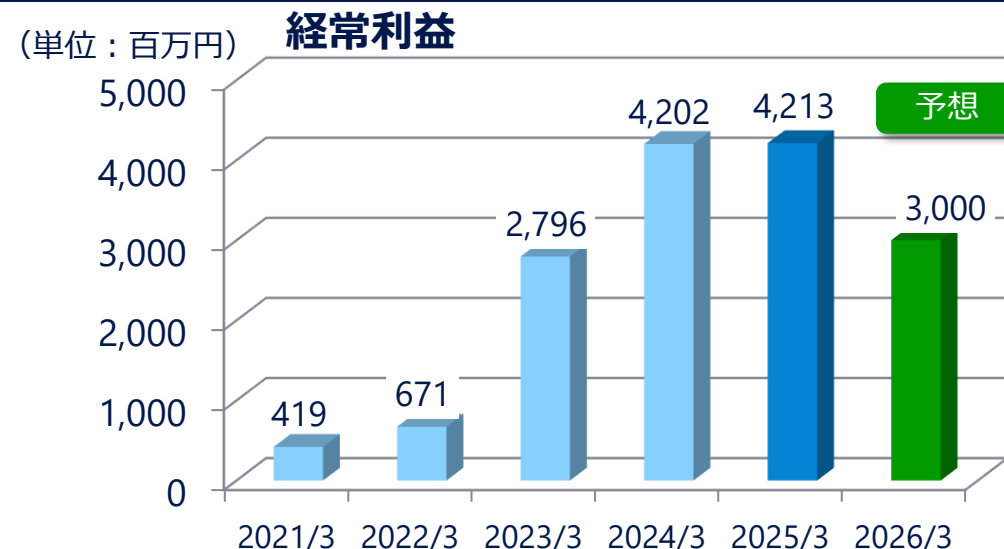
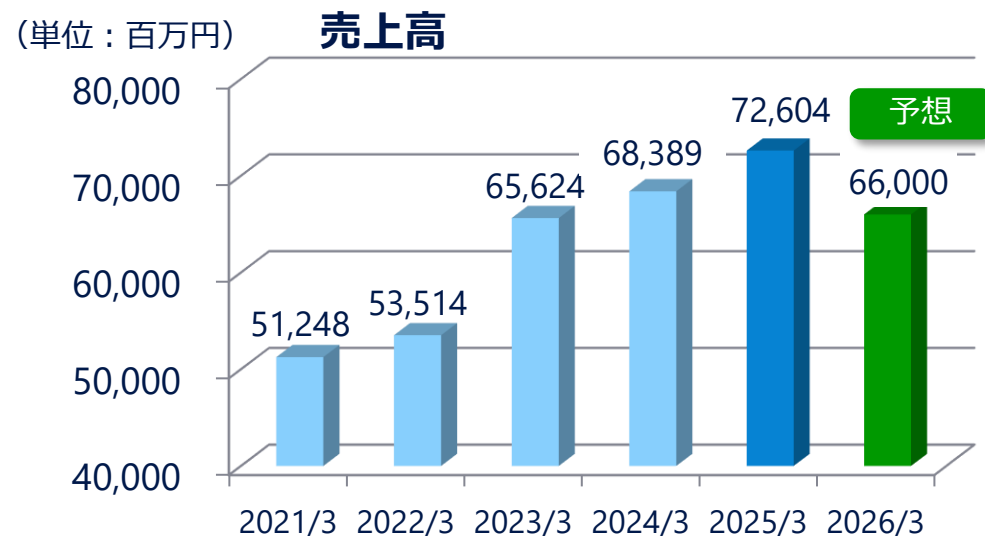
▪ 防災

消防用・消火栓用ホースの販売が回復し、増収増益の計画。

▪ 産業資材

広巾織物の原材料費上昇や、円安継続による物流分野の仕入価格高止まりの影響で伸び悩み、増収減益の計画。

6. 連結業績の推移

2025年3月期（第125期）
決算説明資料

自動車安全部品事業本部 主要製品のご紹介

シートベルト



1967年にシートベルトメーカーとして初めてJIS規格の認証を受けて以来培ってきた技術が詰め込まれており、「モーター巻取り式リトラクター」をはじめ、「次世代シートベルト」への挑戦にも積極的に取り組んでいます。

手動シェード



ドアトリム内にビルトインされた巻取り式ドアシェードです。使用時以外はドアトリム内に巻き取るため視界を遮ることがなく、また上端まで閉めればプライバシーを守ることができます。

エアバッグ



1986年にエアバッグの開発に着手し、1989年に量産を開始。座席サイド部分に内蔵される「サイドエアバッグ」や「カーテンエアバッグ」等、正面衝突以外の衝撃を緩和するための多種多様なエアバッグを製造しています。

セパレーションネット



乗員スペースとラゲージルームを仕切るネットで、急制動時に乗員スペースへの荷物の進入、荷くずれを防止し、乗員を守ります。

機能製品事業本部 主要製品のご紹介

パルテム・フローリング工法



住宅リビングの床をイメージできるフローリング工法は、円形のみならずあらゆる断面形に対応できる、主に下水道向け管路更生工法です。

消防用ホース 低圧力損失ホース



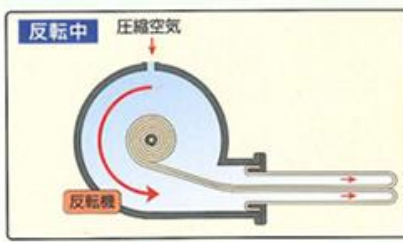
放水時の圧力損失を従来品と比較して最大約50%低減し、より遠く、高く、早く放水でき、低燃費で操作できるため環境への負担も軽減できるホースです。

リフトアップ式搬送システム「エアーロールシステム」



円滑なトラック貨物の移動により荷役作業を省力化させるシステムで、女性や高齢者でも容易に扱え、作業負担を軽減します。

ホースライニング工法



既設管の内面にシールホースを「反転」挿入し、新しくパイプを形成するパルテムの原点となる工法です。

緊急排水ホース「パルジェット」



水害や災害の現場で排水ポンプ車がすぐに使用できるように軽量化した緊急排水対策用ホースです。

軟弱地盤表層処理工法用シート「パレスシート」



格子状補強枠（専用モルタル充填円筒織物）と補強枠下の土木シートにより荷重を分散させ、軟弱地盤での沈下を防ぐ表層処理工法です。撤去も容易で原状復帰が可能です。

芦森工業株式会社 社是

1. 信用を重んじ、堅実を旨とする。
2. 人の和と開かれた心で活力ある企業を築く。
3. 創意を生かし、社業を通じて社会に貢献する。

Mission・Vision・Values

【ミッション】

“私たちの使命は、命と暮らしを守る製品を提供することです”

【ビジョン】

“私たちは、繊維で培ったコア技術を活かして社会課題を解決する企業であり続けます”

【バリュー】

“私たちは、誠実に、ルールを守り、品質最優先のものづくりに取り組みます”

本資料中の業績予想および見込みについての記述は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。

IRに関するお問い合わせ先

芦森工業株式会社 総務部 総務広報課

TEL : 06-6105-1680

MAIL : ir_madoguchi@ashimori.co.jp

HP : <https://www.ashimori.co.jp>

ちから
つむぐ **技術**、つなげる **未来**

